

子育て支援シンポジウム「こんな子育て支援があるといいね！」が開催されました



9月21日(土)アビスタ・ホールで、あびこ女性会議と市の共催による、シンポジウム「こんな子育て支援があるといいね！～みんなで語ろう～」が行われ、約60人の方が参加しました。

前半は、内海崎貴子さん(川村学園女子大学)のコーディネイトで、パネリストの3人の方が、どうして子育て支援を始めたか、ご自分の経験や思いを話しました。

- 短時間保育「バンビーノ」の深津祥子さん: 事前予約をすることで、1時間でも2時間でもお子さんを預かっています。
- 我孫子南まちづくり協議会「ひよこサロン」担当の高倉三枝子さん: それまで我孫子になかった妊娠中から1歳ぐらいまでの赤ちゃんをつれたお母さんたちの出会いの場を作りました。
- NPO 法人「アビーズ」理事長の宮本慈子さん: 今年4月からファミリーサポートセンターの運営を行っています。



その後、前半の話と会場からの質問を受けて、活発な話し合いが行われました。その中で、パチンコに行くのに子どもを預けるということについての可否についてのやりとりを紹介します。

パネリストからは、いまのお母さんたちは子育ての大変さを抱えとても疲れている、そんなお母さんたちが少しでもラクになるためなら、すべてを受け入れるとのことでした。会場の男性(中高年)からは、「パチンコに行きたいから子どもを預けるなんてとんでもないと思っていましたが、本人がリフレッシュして癒され、また育児に一生懸命になれるならいいのかな」という声も出ました。



最後に、コーディネーターから「一人ひとりに寄り添う」と「声を上げていこう」というキーワードが示され、子育てには行政も含めて地域の力が重要だと結ばれました。